

JFEグループとしてのDXに対する位置づけ

JFEグループを取り巻く環境は、  
急激かつ大幅な変化の途上にある

- グローバル競争激化 (中国ミル台頭等)
- 気候変動問題
- 国内人口減少に伴う内需の減少
- 米中対立による世界経済の不透明感
- 新型コロナウイルス感染拡大
- 熟練技術者の世代交代、製造設備の老朽化 等

持続的成長のための強靱な経営基盤の  
確立が必要(創立以来最大の変革期)

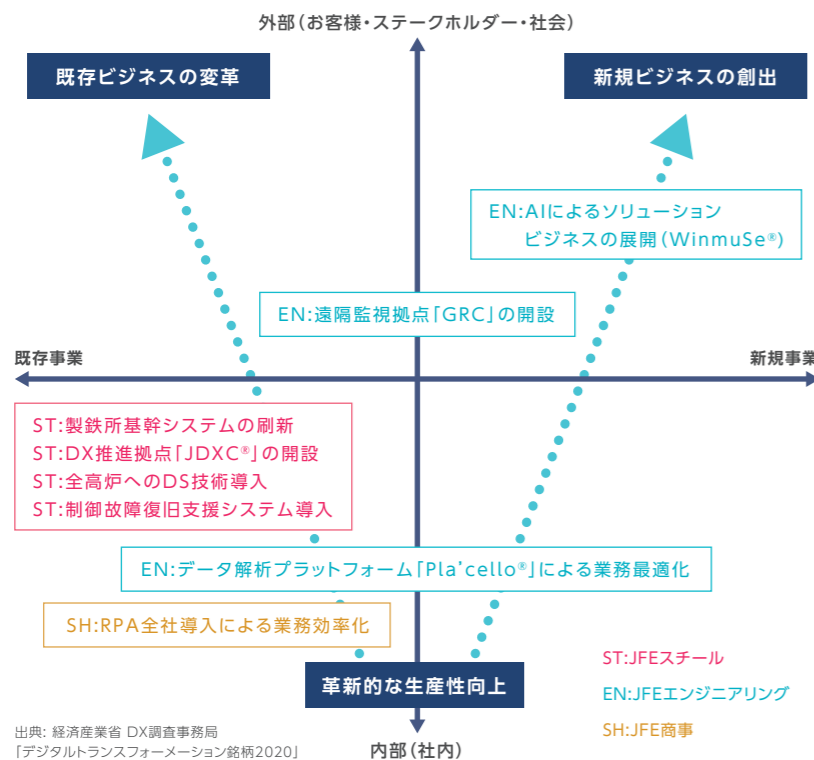
- スリムで強靱な事業構造への変革  
鉄鋼事業:「構造改革の完遂」、「量から質への転換」
- 世界トップレベルのコスト・品質競争力の確保
- 新たな成長戦略の推進  
(グローバル化、成長分野・新規ビジネス捕捉)
- 気候変動問題への対応

DXは創立以来最大の変革のためのカギとなる戦略

最新ICT・デジタルインフラの大規模導入および  
グループの豊富なデータ・ノウハウ・技術(=競争力の源泉)の最大限活用によりDXを実現

⇒ 事業変革、新たな付加価値商品・サービス創出、環境変化のリスクを成長機会へつなげる

今までの取り組み



- 当初は「革新的な生産性向上(内部最適化)」を中心に着手し生産基盤強化、業務効率化に大きく貢献
- そこで培った知見をベースに「既存ビジネスの変革」や「新規ビジネスの創出」へ挑戦

● 「DX銘柄2021」に認定 (7年連続)

(経済産業省、東京証券取引所が共同で発表)

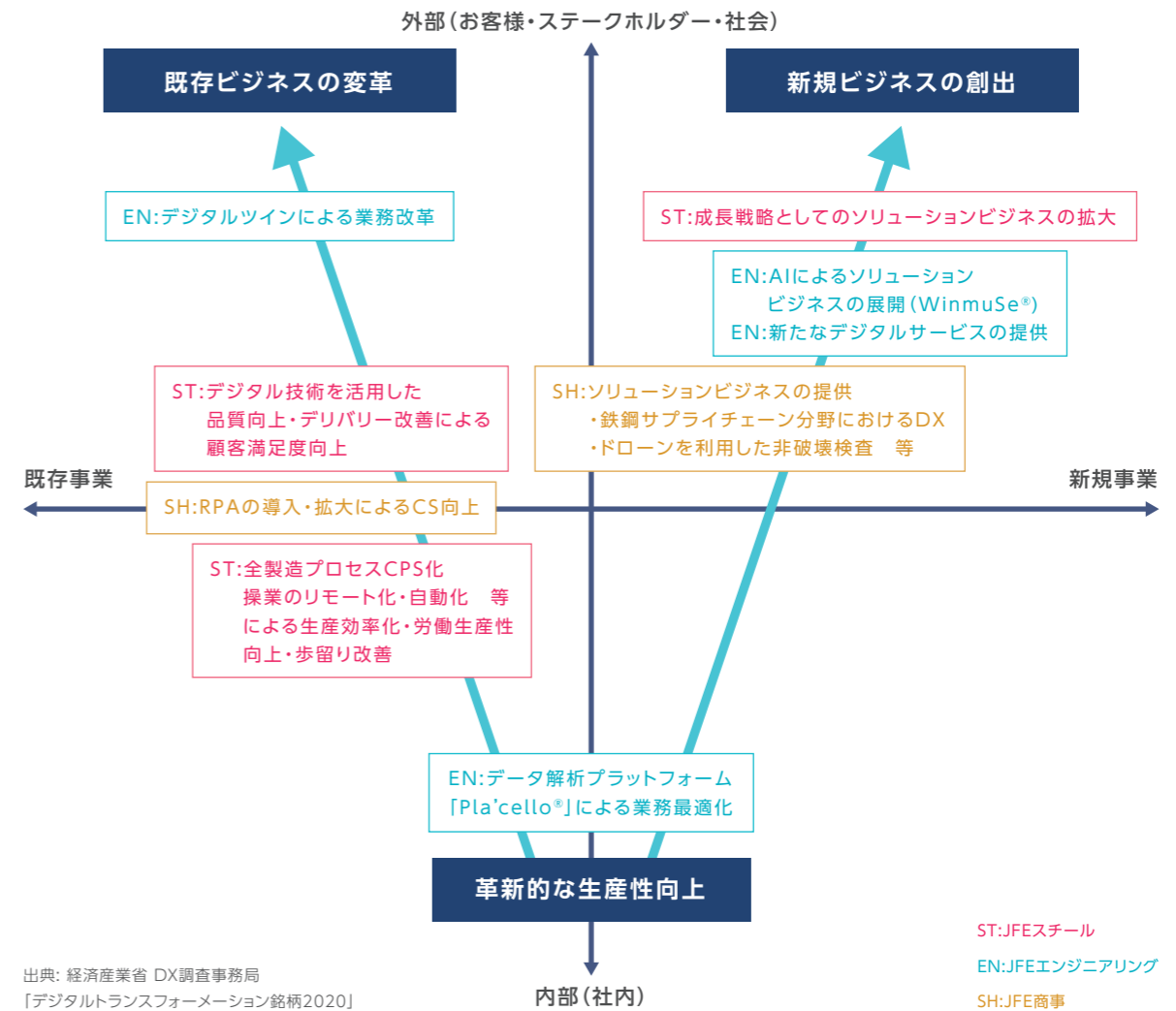


評価コメント

- DX活用をビジネスモデル変革の中心に据えている
- エンジニアリングへのDX利用で先行している

出典: 経済産業省 DX調査事務局  
「デジタルトランスフォーメーション銘柄2020」

第7次中期経営計画(2021~24年度)の取り組み



出典: 経済産業省 DX調査事務局  
「デジタルトランスフォーメーション銘柄2020」

- 「革新的な生産性向上」による生産効率化・競争力強化へさらに注力し成果を拡大
- 今後は、今までの取り組みで培った技術やデータをもとに、外部に向けた取り組みを強化し「既存ビジネスの変革」、「新規ビジネスの創出」を重点的に推進
- 必要な資金や人材などの経営資源を計画的に投入:DX投資 1,200億円程度/4ヵ年

各事業会社の目指すDX戦略の概要

- JFEスチール** 長年蓄積した豊富なデータを最大限に活用し競争優位を確立
- JFEエンジニアリング** さらなるデータ活用による抜本的業務改革と新たなデジタルサービス提供
- JFE商事** お客様への革新的な価値提供

グループ横断的な取り組み

- デジタル・ガバナンスに基づく対応
- グループ全体のサイバーセキュリティ対策
- 横断テーマのさらなる検討